

急性 非代償性 心不全 の実態 に 関する多施設観察研究に関する研究

1. 研究の対象

高知大学医学部附属病院 老年病科・循環器内科において2007年1月以降に急性心不全で入院された方を対象にしています。

2. 研究目的・方法

急性非代償性心不全の診断で当院に入院となった20歳以上の患者を全例登録して予後調査を行っているNARA-HF studyのデータと、本邦における急性心不全急性期治療と予後との関係性に関する多施設レジストリー研究であるREALITY-AHFのデータ、急性非代償性心不全患者を対象とした多施設レジストリー研究であるWest Tokyo Heart Failure Registry [WET-HF]のデータ、拡張能障害によるうっ血性心不全の予後予測因子の検討および治療戦略の研究であるMEIDAI-HFのデータを用いて、急性心不全で入院した患者における、背景や病態、心不全入院後の短期及び長期予後、治療法などについて検討します。

研究期間：倫理委員会承認日（2020年4月20日）～2024年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。①患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、入院・退院年月日、疾患名、併存疾患、など）、②血液・尿検査、③心臓超音波検査、④心臓カテーテル検査、⑤放射線検査・MRI検査・核医学検査、⑥その他の評価項目、⑦予後

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

奈良県立医科大学循環器内科学 野木一孝 ほか

NARA-HF study と、REALITY-AHF、WET-HF に参加した施設。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部 老年病・循環器内科学 馬場裕一

電話：088-880-2352

研究責任者：

高知大学医学部 老年病・循環器内科学 馬場裕一

研究代表者：

奈良県立医科大学 循環器内科学 野木 一孝